



メインステージを囲みながら、旧友と賑やかに談笑する学员たち。こうして話に花を咲かせて過ごす人、講演や寄席などを巡る人、学员たちの楽しみ方は、それぞれです。

在学生も負けてません！

FLP 国際協力プログラムの学生が中心となって活動する団体・中央大学フェアトレード委員会 FACT が模擬店を初出店しました。販売していたのは、フェアトレードの豆を使ったコーヒー。在学生たちにとって、学员たちに活動を知ってもらう絶好の機会となりました！

「2年連続で1番に売り切れた！」

そう語ってくれたのは、青森県産「さんのへりんご」を販売していた白門44会支部の皆さん。ペDESTリアンデッキ上を中心に50店舗近くの模擬店が連なっており、この日だけ特別に販売される品などを目当てに、たくさんの人が集まっていました。

学员のネットワークを広げるべく、

学员会海外支部が出店！

卒業生たちは国内だけでなく海外でも活発に活動しており、現在、15以上の国と地域で海外支部が結成されています。

伝統ある大学公認サークル・書道會は、希望された字をしたためてプレゼント。隣に設置されていた似顔絵コーナーと並んで、お客さんたちが行列を作っていた人気の一角でした。

陸上競技場では、大人数でタスキをつなぐ「駅伝タスキリレー」が行われました。箱根駅伝に出場する選手たちに向けて、Cの旗に応援メッセージを寄せ書き。会場に駆け付けた浦田春生駅伝監督に、選手たちを応援する熱い思いとともに旗を贈りました。

子どもたちを夢中にさせたのは...

ペDESTリアンデッキ下をミニ新幹線が走行！親子で楽しめる催しが盛りだくさんだった今年、恒例のスーパーボールすくいやエアースッカーゴールのほか、タップダンス教室や紙飛行機教室といった新企画もお目見えしました！

Gスクエアでは、LA、上海の海外企業訪問プログラムに参加した学生による報告と、「アジアそして世界の未来を創る『協働プロジェクト』」をテーマにした学生による英語プレゼンテーションが行われました。日本語、英語、中国語が入り混じるグローバルな発表に、学员たちも高い関心を寄せていました。

ホームカミングデーのフィナーレを迎えた午後4時。グリーンテラスにてイルミネーションの点灯式が行われました。グリーンテラス、モノレール駅付近に設置されたこのイルミネーションは、母校の輝かしい未来を願う学员会から寄贈されました。カウントダウンとともに点灯されると盛大な歓声上がり、母校での一日を楽しんだ学员たちを柔らかな明かりが包み込みました。130周年を記念してさまざまな企画が盛り込まれた今回、いつにも増して心に残るホームカミングデーになったのではないのでしょうか。在学生、大学は学员の皆さまの思いをしっかりと受け止め、輝かしい140周年に向けて団結を強めた日でした。

また来年お会いしましょう！